～2月24日（木）25日（金）の一般入学者選抜に関する確認事項～

□でチェックしよう！

1．前日まで

≪学習≫ □易しい問題も馬鹿にしないで、丁寧に解いてみる。（直前に確認する、易しい問題こそ大切）
□深夜の勉強は控える。（朝早く行うか、夜遅くまでならないような学習をする）

≪生活≫ □髪、爪、服装、上履きなどに注意し、当日慌てることのないよう整えておく。
（試験官、面接官が目を光らせる部分）
□Y シャツ、ベルト、校章、リボン、長い靴下を揃えてハンガーにかけておく。
□健康管理には十分注意する。（風邪、インフルエンザ、胃腸炎等で、休んでも高校は待ってくれない！）

≪その他≫□入試当日の時程を再確認する。

2．試験前日、持ち物の確認等

□受検票 □健康観察シート □替えのマスク □アルコール消毒 □自己表現選択用紙の控え（該当校のみ）
□筆記用具（必ず鉛筆、鉛筆削り、シャープペンシル、消しゴム）＊下敷きは持参しない
□コンパス □定規（必ず三角定規一組（角度の目盛りのないもの）、直定規は認められない）
□ハンカチ、ティッシュ □上履き □生徒手帳（受検番号控え） □計算機能の付いていない時計
□弁当（弁当については各高校から指示が出ています） □水筒 □交通費 □実技の道具
□電話代（緊急時：公衆電話使用。携帯電話は絶対に持って行かない） □カイロ等 □入試計画・報告書
□防寒着（六実中で定められたもの） □ノート、問題集等、試験直前まで必要な勉強道具
□スピーチ原稿やこれまで作った作文 □その他、高校側から持ってくるように指示されたもの
□前日は、お風呂に入り、体調を整える。（よく眠れるように）
□翌朝、絶対寝坊することがないように、家の人に伝え、必ず目覚まし時計をかけて早めに眠る。

3．試験当日

□起きる（洗面）→ 天気予報と交通情報、高校の HP をチェック→ 必ず食事をとる → 必ずトイレに行く → 持ち物をもう一度確認 →家の人に、大きな声で「頑張ってきます!!」と言って、出発しましょう。

□歩いて駅へ！（自転車は使ってはいけません。発生件数が多い自転車事故で受検できず、再度、入学試験を行って欲しいと高校側に頼んでも、絶対にその願いは叶えられません。また、自家用車の使用は各家庭の判断に任せますが、渋滞での遅刻は、言い訳になりません。逆に、公共交通機関の事故等の遅れは、遅延証明書が発行されますので、特別に別室等で受検できる場合があります。） 受検では公共交通機関を使用するのが原則です。（病気等でやむを得ず、自家用車等を利用する場合は別です。）渋滞や遅延等を予測して必ず早めに出発しましょう。

□個人で行きます！（友達と待ち合わせていたために、その友達が遅刻して、２人とも受検に遅刻してしまったら・・・誰を非難できますか。友達と一緒に行く時も、相手が約束の時間に間に合わなかったら、自分は先に行くことを確認しておきましょう。）

□駅～高校までは、すでに試験場。（高校によっては、駅から高校までのいろいろな場所に高校の職員を配置して、高校までの道案内をしています。それは、同時に受検生の様子を把握することも兼ねています）

□集合時刻９時３０分の 10 分～20 分前には必ず試験会場に余裕を持って到着すること。ただし、早く行き過ぎても、外で長時間待たされることもあるので気をつける。（開門時間は 9 時～9 時 10 分が多い。）

□掲示物や配付資料をよく見る。（重要なことが書いてある）不明な点は必ず聞くようにする。

□試験前には、必ずトイレに行っておく。

4. 試験中の注意

□試験中の態度に気をつける。（だらしない姿は受検番号をチェックされる）

□受検番号、氏名の記入を忘れない。

問題はしっかり読む、易しい問題から解いていく、文字･数字は丁寧に(採点してもらうことを考えて)、ケアレスミスで泣かない様に再度見直す、とにかく最後まで粘る。終わったからといって眠らない。

□休み時間はトイレをしっかり済ませ、静かに次の準備をする。（待機する廊下でも騒がない）

□検査室内では、物の貸し借りをしないこと。

□自己採点ができるように、問題用紙に解答を簡単にメモしておく。

5. 面接やスピーチについて（学校によってある場合）

□もう一度、保護者と練習をやっておく。

□言葉遣い、声の大きさ、身だしなみ、礼儀作法に気をつける。

□質問内容に備える。（志願動機：あなたは、なぜこの学校を選びましたか。）

6. 試験が終了したら

□まっすぐ家に帰る。（基本的に、学校には戻りません）

□学校への連絡も不要。トラブル等の緊急連絡は学校へ　℡047 - 388-1190　進路携帯：070-2483－8610

□寄り道したり、気を緩めたりしてトラブルに巻き込まれないように。

事件の性質によっては不合格になることも。休みの日ではないことを意識しましょう。

□入試計画・報告書を丁寧に書いて、2/28 に上履きと一緒に持ってくる。（28 日は学年内日課、給食最終日）

7. その他、トラブルがあった場合など

□「受検票を紛失した」「発熱した」「交通機関で事故があった」など予期しないトラブル

⇒　とにかく必ず受検会場である高校に行く！！

① 受検票が見つからない場合は、いつまでも探さずに、とにかく出かける。（中学校に連絡を！）忘れ物に行く途中に気がついても、時間がない時は取りに戻らないこと。生徒手帳を持っていて、受検番号を申し出れば、仮受検票を出してもらえる場合もある。

② 交通機関の事故や渋滞で会場へ行く途中でストップしてしまった場合は、中学校と高校に電話を入れて指示を仰ぎます。（自分の受検番号、六実中と受検校の電話番号は事前に生徒手帳にメモしておくこと。

③ インフルエンザ等に罹患している者で本検査を受検する者、または受検できない者、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者に特定され、PCR 検査などの結果が陰性かつ無症状の者で受検可能な者、または受検できない者は、検査前日までに各中学校から連絡をすることになっています。しかし、前日が祝日のため電話ができません。当日の朝、本人(保護者)が、高校に連絡することになっています。もちろん、中学校からも高校に連絡をするので、中学校にも連絡をお願いします。

～先輩からのアドバイス～

- 雨の日は、靴下の替えを持って行ったほうがいいと思います。あと、手荷物も少ない方がいいです。
- 休み時間、廊下で周りの人がうるさかったけど、そういう人は試験官に必ずチェックされている。
- 面接まで人によっては２時間待つことになるので、参考書などを持っていった方が良い。１教科ごとに廊下で待機させられるので、防寒具をしっかり準備した方が良い。
- 市立松戸の文章の自己表現が横書きでビックリしました。時間を１０分くらい余らして、見直しできるといいです。
- なぜか休み時間勉強していない人が３分の２以上いましたが、調子ぶっこいてないで次の教科に向けて勉強しましょう。単語や小さい参考書がいいかもです。時間を有効活用！
- 作文は、過去のテーマなどを活用して、発想を広げる練習をする。自分の体験、未来に向けてのことを入れるといい。
- 毎回試験が始まったら、終わる時間をどこかに書いておいた方がいい。特に数学は大問ごとに、時間の配分を決めて、わからない問題があり、自分がきめた時間までに終わらなかったら次の問題を解いた方が良い。
- 開門５分前には、たくさんの人が来ていたから、少し早めが良いかも。だけど早すぎると寒いです。実技の人と作文の人で控室が違うので、掲示物をしっかりと見ておくといいです。